

## 情報公開文書

### ◆ 「家族性・若年性のがん及び遺伝性腫瘍に関する診断と研究」

#### 1. 研究の対象となる方

2014年1月～2019年3月に当センター遺伝子診断部遺伝子診療科外来で遺伝学的検査を受けた患者さん

当センターでは、すでに上記患者さんに研究の説明を行い、同意もいただいています。今回、上記研究が2024年3月30日まで延長しましたので、お知らせします。

#### 2. 研究目的・研究の方法

この研究は、遺伝性腫瘍の遺伝診療における多施設連携体制・ネットワークを基盤として、1) 遺伝性が疑われるがんの未知の原因遺伝子・修飾遺伝子の同定と、2) 遺伝子型-表現型関連に関する知識の集積を目的にします。最終的にはこれらの知見に基づく3) 個々の遺伝性腫瘍の症例・家系に的確に個別化されたサーベイランス・予防医療の確立、4) 必要な遺伝学的検査やサーベイランス・予防医療の先進医療承認や保険償還の達成に貢献することを目指します。

研究期間は2017年6月19日から、2024年3月30日までです。他施設(共同研究機関や海外の研究機関)に試料・情報を提供する場合は、それらを匿名化します。また研究結果を公表する場合は、学会発表や学術雑誌への投稿などの方法をとります。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、治療歴、遺伝学的検査の結果 等

試料: 血液、診療の過程で採取した検体

#### 4. 研究が行われる機関および研究者名

国立がん研究センター中央病院 遺伝子診療部分野長 吉田輝彦

千葉県がんセンター 遺伝子診断部遺伝子診療科 横井左奈 ほか

#### 5. 研究責任者

国立がん研究センター中央病院 遺伝子診療部分野長 吉田輝彦

#### 6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

#### 7. 研究の資金源および利益相反について

本研究に必要な経費は国立研究開発法人国立がん研究センター研究開発費からの研究費が利用されます。研究に関する利益相反は、当院の利益相反委員会の審査を受けています。

#### 8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は当院の倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

#### 9. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの試料・情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 遺伝子診断部遺伝子診療科 部長 横井 左奈  
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2  
TEL 043-264-5431(5203)